



2022年 9月16日  
第40号

# JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集 情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



## 9月11日～15日 5日間で68名が参加！ 「働き方の未来を考える意見交換会」開催！

横浜地本は、9月11日～15日において「働き方の未来を考える地本意見交換会」を開催し、5日間で68名が参加しました。

意見交換会では、「変革 2027」に基づく「柔軟な働き方」や「組織再編」、イノベティブスタッフが新設される「新たな役割」などの会社施策によって、未来の働き方がどの様に変化していくのか、ビジネスユニット制を視点を、厚生労働省の『働き方の未来 2035』や経団連の『経労委報告』などを用いて狙いなどを紐解いてきました。



## 「新たな施策に対する5本柱」に基づき、 職場からJR東労組運動をつくり出そう！

参加者からは「委員会や PT を掛け持ちし『社員の発意』の名の下に疲弊させられている」「タブレットで休憩時間や休日も仕事をしている」「仕事とプライベートの境目が曖昧になりつつある」「企画業務に集中するあまり、本来業務でミスが起きている」といった職場現実や、ミスをした社員に対し原因究明ができずに懲罰的な追及が行われている実態なども報告されました。



私たちは、経営姿勢に起因する職場で発生した問題を正しく捉え、「新たな施策に対する5本柱」を視点を検証し、具体的なJR東労組運動をつくり出していかなくてはなりません。

職場では、本部討議資料を活用し、JR 東労組運動の構築を通じて、組織の強化・拡大を推し進めましょう！

### 新たな施策に対する5本柱

- ①年功賃金の廃止反対！ 手当・定昇カットなど生涯賃金の減額反対！ 更なる成果主義型への変更を許さずたたかおう！
- ②主たる業務を明確にし、経験労働と各系統の訓練・教育を確実に実施させ、安全を守り抜こう！
- ③十分な休憩時間・在宅休養時間確保や勤務間インターバルを確保しよう！
- ④拘束時間内における副業は反対してたたかおう！
- ⑤本人希望を尊重させ、全組合員が働きがいの持てる職場と仕事をつくり出そう！

職場で発生する事象を掴み、経営姿勢・施策に立ち向かうために、  
今こそ組織の強化・拡大を成し遂げよう！